

# NEWS RELEASE

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## 2019年9月のマルウェアレポートを公開 ～犯罪に悪用される「ダークウェブ」の実態とは～

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長:坂田正弘、以下キヤノン MJ)は、2019年9月のマルウェア検出状況に関する最新のレポートを公開しました。サイバー犯罪が増加する一因となっているダークウェブについて紹介しています。



キヤノン MJ のサイバーセキュリティに関する研究を担うマルウェアラボは、国内で利用されているウイルス対策ソフトウェア「ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ」のマルウェア検出データを基に、2019年9月のマルウェア検出状況を分析し最新のレポートを公開しました。

2019年9月のマルウェア検出状況に関するレポート

【 [https://eset-info.canon-its.jp/malware\\_info/malware\\_topics/detail/malware1909.html](https://eset-info.canon-its.jp/malware_info/malware_topics/detail/malware1909.html) 】

### ■ トピック

#### ・ Web サイト閲覧時に実行される不正スクリプト HTML/ScrInject が増加

2019年9月は Web サイト閲覧時に実行される不正スクリプト HTML/ScrInject の検出数が増加しました。不正なスクリプトが実行されると、不正な Web サイトへのリダイレクト、マルウェアのダウンロード、不正広告の表示、Web 閲覧情報の窃取など様々な被害に遭う可能性があります。国内で検出された本マルウェアの数は、2019年4月以降増加傾向にあります。

#### ・ 犯罪に悪用されるダークウェブ

近年、サイバー犯罪者は、匿名性の高い特別な Web サイト「ダークウェブ」上で犯罪を行う上で必要な情報やサービスを売買できるエコシステムを構築しており、これがサイバー攻撃の増加の一因となっています。2019年9月のマルウェアレポートでは、ダークウェブに関する情報をまとめました。

キヤノン MJ のマルウェアラボの調べでは、フィッシング攻撃やマルウェア、盗難などで盗んだクレジットカード情報や個人情報を売買するだけでなく、攻撃を実行するためのサービスやツールなどをダークウェブ上で販売していることがわかりました。例えば、サイバー攻撃を行うための「ランサムウェアを提供するサービス (Ransomware as a Service)」や「マルウェアを販売するサービス (Malware as a Service)」、「簡単にフィッシングサイトを作成できるサービス (Phishing as a Service)」、「サイバー攻撃を請け負うハッキングサービス」などがあります。

- 
- 一般の方のお問い合わせ先 : ESET サポートセンター 050 - 3786 - 2528
  - ESET ホームページ : <https://eset-info.canon-its.jp/business/>
  - ニュースリリースホームページ : [canon.jp/newsrelease](http://canon.jp/newsrelease)
-

## < “2019年9月マルウェアレポート” の主な内容 >

### ■ 9月の概況

2019年7月・8月の国内マルウェア検出数は減少傾向でしたが、9月に入り大きく増加し、直近の半年では二番目の検出数となりました。

2019年9月は Web サイト閲覧時に実行される不正スクリプト HTML/ScrInject の検出数が増加しました。不正なスクリプトが実行されると、不正な Web サイトへのリダイレクト、マルウェアのダウンロード、不正広告の表示、Web 閲覧情報の窃取など様々な被害に遭う可能性があります。国内で検出された本マルウェアの数は、2019年4月以降増加傾向にあります。また、8月から9月にかけては検出数が特に大きく増加しました。この傾向は日本だけでなく世界全体でも確認されています

### ■ 【解説】 犯罪に悪用されるダークウェブ

サイバー犯罪者は、匿名性の高い特別な Web サイト「ダークウェブ」で犯罪を行う上で必要な情報やサービスを売買できるエコシステムを構築するようになり、サイバー犯罪がますます増加しています。2019年9月のマルウェアレポートではダークウェブに関する情報をまとめました。

キヤノン MJ のマルウェアラボの調べでは、犯罪者はダークウェブ上でフィッシング攻撃やマルウェアを利用して盗んだクレジットカード情報やパスポート、運転免許証などの個人情報に加え、犯罪を実行するためのサービスやツールを販売していることがわかっています。例えば、サイバー攻撃を行うための「ランサムウェアを提供するサービス (Ransomware as a Service)」や「マルウェアを販売するサービス (Malware as a Service)」、「簡単にフィッシングサイトを作成できるサービス (Phishing as a Service)」、「サイバー攻撃を請け負うハッキングサービス」などがあります。これにより、技術力が低いサイバー犯罪者でも、目的に合ったサービスを選択し購入することができるため、容易にサイバー攻撃を行うことができます。

これ以外にもダークウェブ上では、犯罪者が違法薬物や武器、児童ポルノ、偽造通貨、違法なホスティングサービスなど、違法に入手した情報や違法なサービスや商品を売買しており、犯罪を行う上で必要な情報やサービス・商品が入手できる市場が形成されています。

---

### ■ マルウェアやセキュリティに関する情報を「マルウェア情報局」で公開中

キヤノン MJ では、インターネットをより安全に活用するために、マルウェアや各種セキュリティに関する情報を提供しています。こちらも合わせてご覧ください。

マルウェア情報局

【 [https://eset-info.canon-its.jp/malware\\_info/](https://eset-info.canon-its.jp/malware_info/) 】

マルウェア情報局は、キヤノン MJ が日本国内総販売代理店として取り扱う ESET 製品に関する情報や、マルウェアの情報を提供するポータルサイトです。本サイトでは、スロバキアのセキュリティベンダー ESET 社が発信するニュースを中心に、キヤノン MJ のサイバーセキュリティに関する研究を担うマルウェアラボが発信するレポートを掲載しています。

※ ESET は、ESET, spol. s r.o. の商標です。